

平成30年度事業計画

公益社団法人 和歌山県シルバー人材センター連合会

I 基本方針

和歌山県の人口はここ数年減少傾向にあり、平成29年10月1日現在944,000人で前年度と比較すると9,600人の減少となっている。

一方、65歳以上の人口は一貫して増加し続け、301千人となり、高齢人口比率は30.3%、さらに75歳以上は16.1%となった。

また、雇用情勢においては、景気回復が続く中、全国的には失業率2.7%と平成5年以来の低水準となっており、有効求人倍率全国1.56倍、和歌山県1.34倍で全国の倍率がすべて1を超え推移しているのが現状である。

このように経済・雇用環境が好調であることは、就業を希望する高齢者に就業機会を提供することが使命であるシルバー人材センターにとって追い風が吹いているといっても過言ではない。それは、人手不足により高齢者の労働力が強く求められる中、現実的に、シルバー派遣事業の実績が順調に伸び、実績が確実に上がっていることにある。

平成29年度は「全国会員100万人達成計画」の最終年度であり、本県も会員倍増計画8,000人を目指したが、4,750人に落ち着き、4年前と比較して純増750人、伸び率20%率となった。それでも全国的に会員が減少する中、伸び率においては全国上位の位置となる。

平成30年度においては、「第1次8,000人計画」の分析と評価を踏まえ、平成30年度から平成36年度までの7年間を計画期間として「第2次会員拡大計画」に取り組むこととし、平成32年度に中間目標5,500人を達成する。

このため、高齢者の受け皿としての機能を十分果たし「社会の支え手」を実践できるようセンター、連合会が相互に一層の緊密な連携を図り、次の事項を重点として事業を展開する。

【重点事業】

1 会員拡大第2次推進計画について

全国100万人会員加入運動が展開される中、平成29年度は4ヵ年計画の最終年度であり、目標達成に向け全国的に推進・取組を行ってきたが増加につながらずむしろ減少となった。本県においてもシルバー人材センター等中長期計画の目標会員数8,000人を目指し重点的に推進してきたものの、遠く及ばず4,750人強となる見込みである。4年間で750人の純増、20%の伸び率となった。今年度は、全シ協の第2次推進方針である7ヵ年をかけ第2次推進計画の達成に取り組みたい。

2 シルバー派遣事業を通じての就業拡大

平成29年度の最終契約額は1億8,000万円となる見込み(目標達成)であり、本年度は、前年度目標に対して5,000万円増(前年比28%増)の2億3,000万円を目標契約金額とする。労働力人口の減少が進行する中、多くの業種において人手不足が発生しており、シルバー派遣事業を通じて高齢者が当該分野の担い手となるよう活躍が期待され、就業機会の拡大に繋げていく。

3 高齢者活躍人材育成事業の積極的な展開

育児支援分野や人手不足分野等地域の実情を考慮し、県内のシルバー人材センターのネットワークを最大限に生かしながら、地域高齢者が活躍できるよう、会員を対象に技能講習(訓練)を実施する。目標講習開始者数180人以上及び関連就業率50%以上を目指し、一人でも多く地域の活躍の場に参画してもらえよう積極的に事業を実施していく。

4 業務拡大への対応(高齢法第39条)

高齢法第39条に基づく業務拡大は労働者派遣事業及び職業紹介事業に限定した適用であり、会員ニーズ並びに発注者ニーズに沿って県知事の指定を受けるべく適切な対応を図る。

5 剪定作業に係る後継者育成事業の実施

昨今、剪定作業を行う会員が高齢化のため限定され、地域では後継者がなかなか育っていないのが現状である。県内7ブロックに分けて、昨年度は4ブロックで講習を実施したが、引き続き今年度も残り3ブロックを対象に剪定講習を行い、各センターにおける後継者育成の引き金となるようにしたい。

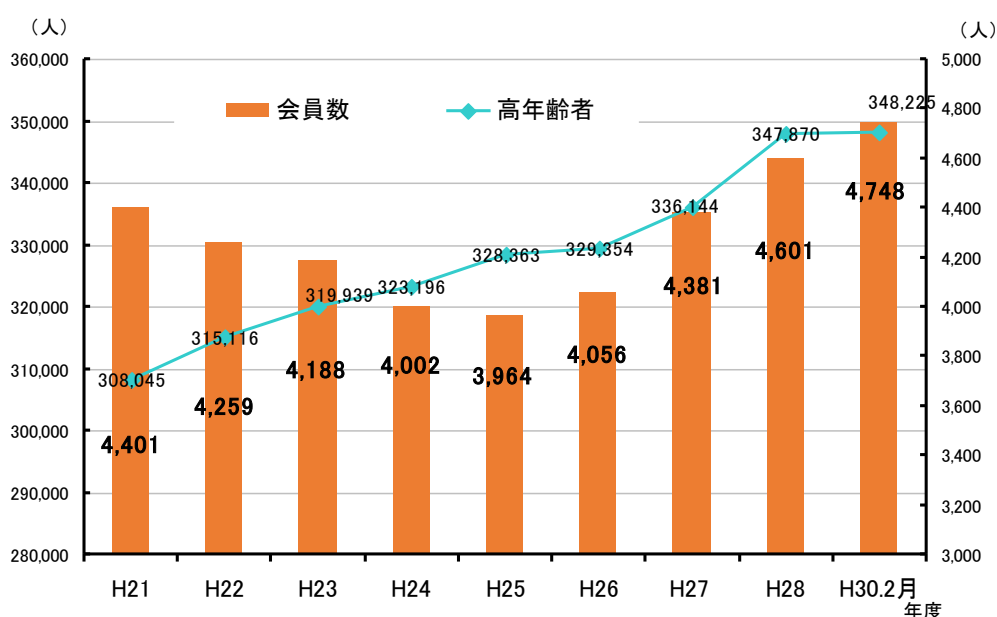
II 事業計画

1 会員拡大第2次推進計画の実現に向けて

シルバー人材センター等中長期第1次推進計画において会員数は、ようやく右肩上がりに転じ始めたものの(下図)、目標達成には程遠いものとなった。

今年度は目標未達成の原因を検証するとともに、会員拡大における第2次の推進計画をし、その実現に向かい、具体的に推進活動を展開していく。

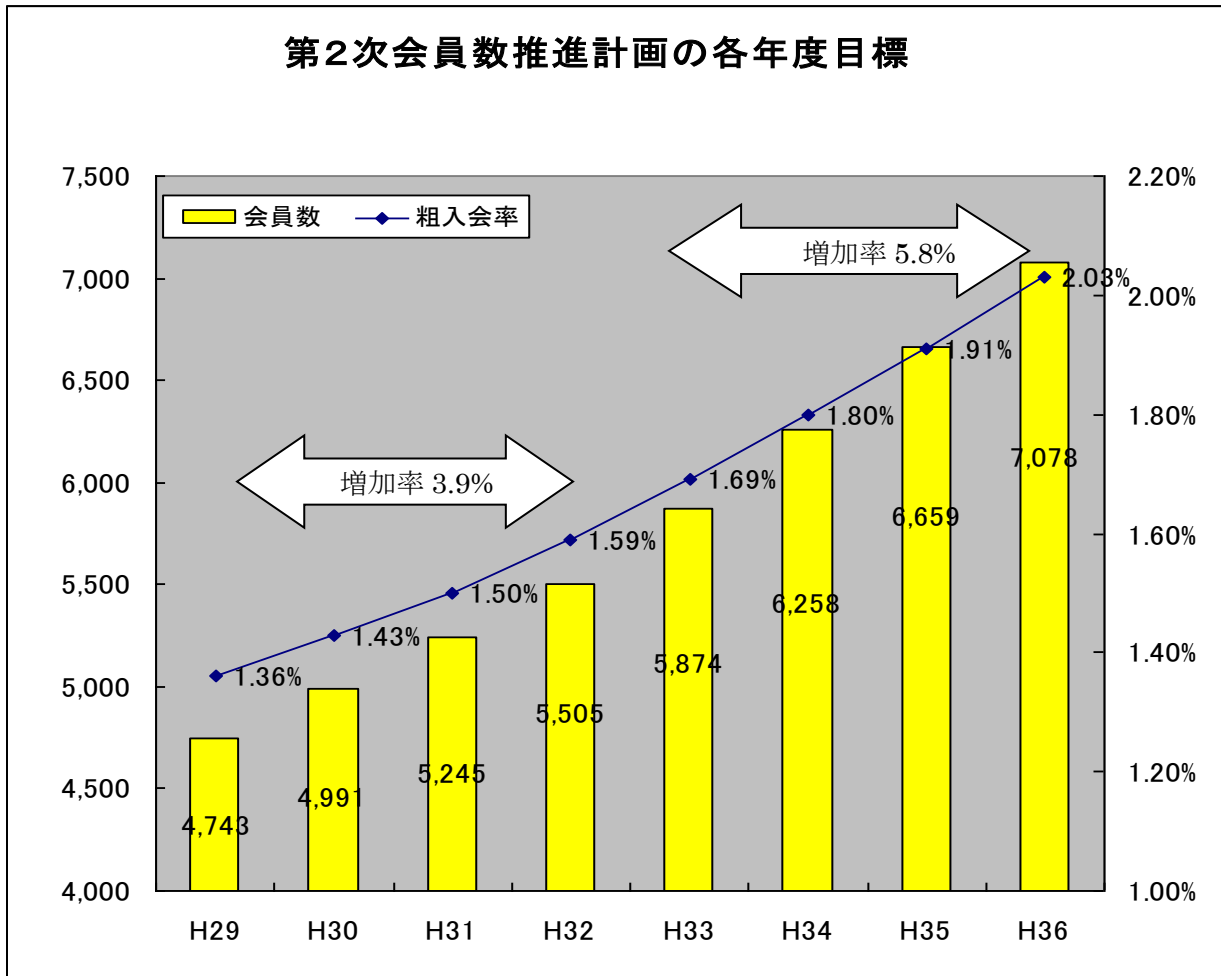
高齢者と会員の推移



【会員拡大第2次推進計画の概要】

- 1 計画期間は、2018年度(平成30年度)から2024年度(平成36年度)までの7ヵ年とし、**会員数7,000人**を目標とする。
但し、2020年度(平成32年度)に5,500人の中間目標を定め、最終目標への検証時点とする。
- 2 2018年度～2020年度までの増加率を**3.9%**(全シ協案)
2021年度～2024年度までの増加率を**5.8%**(全シ協案)とする。
- 3 計画の最終年度2024年度には、全センターが**粗入会率が1%以上**になるように目標を定める。
- 4 平成29年度の年度末の会員数は5月末となることから、平成29年12月末現在の会員数を基準として暫定的に算定する。(「基準値」という。)

第2次会員数推進計画の各年度目標



【目標達成に向けての具体的推進策】

(1) 入会促進の取組

- ① 会員による一人1会員入会運動の実施
- ② 入会説明会の説明内容見直し
- ③ 入会希望者に対して、適正かつ迅速な入会承認及び就業機会の早期提供
- ④ シルバー派遣事業の拡大
- ⑤ 高齢者活躍人材育成事業の活用(連合会事業)
- ⑥ 新総合事業及び家事援助サービス事業による女性会員の確保
- ⑦ 女性をターゲットとした「女性に魅力あるイベント」の開催

(2) 退会抑止への取組

- ① 未就業会員への就業相談及び就業促進の実施
- ② ゴールド会員等の導入

(3) 「加入したい」「加入してよかった」魅力のあるセンターづくり

- ① 10年前のシルバー人材センターではない。センター活動の紹介
- ② ホームページの活用によるセンターの活動紹介及びイメージアップ

(4) 会員拡大 第2次中長期推進計画		【全シ協の増加率を適用 全センター入会率1%以上】										増加率 5.8%	
		【基準値】										増加率 3.9%	
センター名	団体種別	H29	粗入会率	60歳以上人口	H30	H31	H32	粗入会率	H33	H34	H35	H36	粗入会率
A	有田川町	公益社団	451	4.4%	10,272	469	487	506	4.9%	566	599	634	6.2%
	紀美野町	一般社団	179	3.7%	4,819	186	193	201	4.2%	225	238	252	5.2%
	岩出市	公益社団	493	3.3%	14,757	512	532	553	3.7%	619	655	693	4.7%
	みなべ町	公益社団	160	3.2%	4,933	166	173	179	3.6%	201	213	225	4.6%
	印南町	一般社団	121	3.3%	3,659	126	131	136	3.7%	152	161	170	4.6%
B	新宮市	公益社団	266	2.1%	12,586	276	287	298	2.4%	334	353	374	3.0%
	かつらぎ町	公益社団	162	2.1%	7,654	168	175	182	2.4%	203	215	228	3.0%
	橋本市	公益社団	539	2.2%	24,131	560	582	605	2.5%	677	716	757	3.1%
	白浜町	公益社団	195	2.1%	9,471	203	211	219	2.3%	245	259	274	2.9%
	串本町	一般社団	165	1.9%	8,634	171	178	185	2.1%	207	219	232	2.7%
C	紀の川市	公益社団	335	1.4%	24,117	348	362	376	1.6%	421	445	471	2.0%
	田辺市	公益社団	348	1.2%	29,039	362	376	390	1.3%	437	462	489	1.7%
	海南市	公益社団	209	1.0%	21,884	217	226	234	1.1%	262	278	294	1.3%
	和歌山市	公益社団	654	0.5%	131,911	742	826	910	0.7%	1,104	1,201	1,300	1.0%
	高野町	任意	48	3.0%	1,612	50	52	54	3.3%	60	64	67	4.2%
D	九度山町	任意	47	2.1%	2,276	49	51	53	2.3%	59	62	66	2.9%
	有田市	任意	97	0.9%	11,334	101	105	109	1.0%	122	129	136	1.2%
	那智勝浦町	任意	37	0.5%	7,502	41	46	51	0.7%	63	70	76	1.0%
	美浜町	任意	41	1.3%	3,057	43	44	46	1.5%	51	54	58	1.9%
	日高町	任意	79	2.8%	2,861	82	85	89	3.1%	99	105	111	3.9%
E	御坊市	任意	54	0.6%	8,867	57	60	63	0.7%	75	81	87	1.0%
	広川町	任意	73	2.6%	2,849	76	79	82	2.9%	92	97	103	3.6%
	古座川町	任意	11	0.7%	1,642	15	16	17	1.0%	19	20	21	1.3%
	合計		4,764	1.4%	349,867	5,019	5,275	5,536	1.6%	6,293	6,696	7,117	2.0%

は、計画最終年度で入会率 1%を達成

【中間目標】

【最終目標】

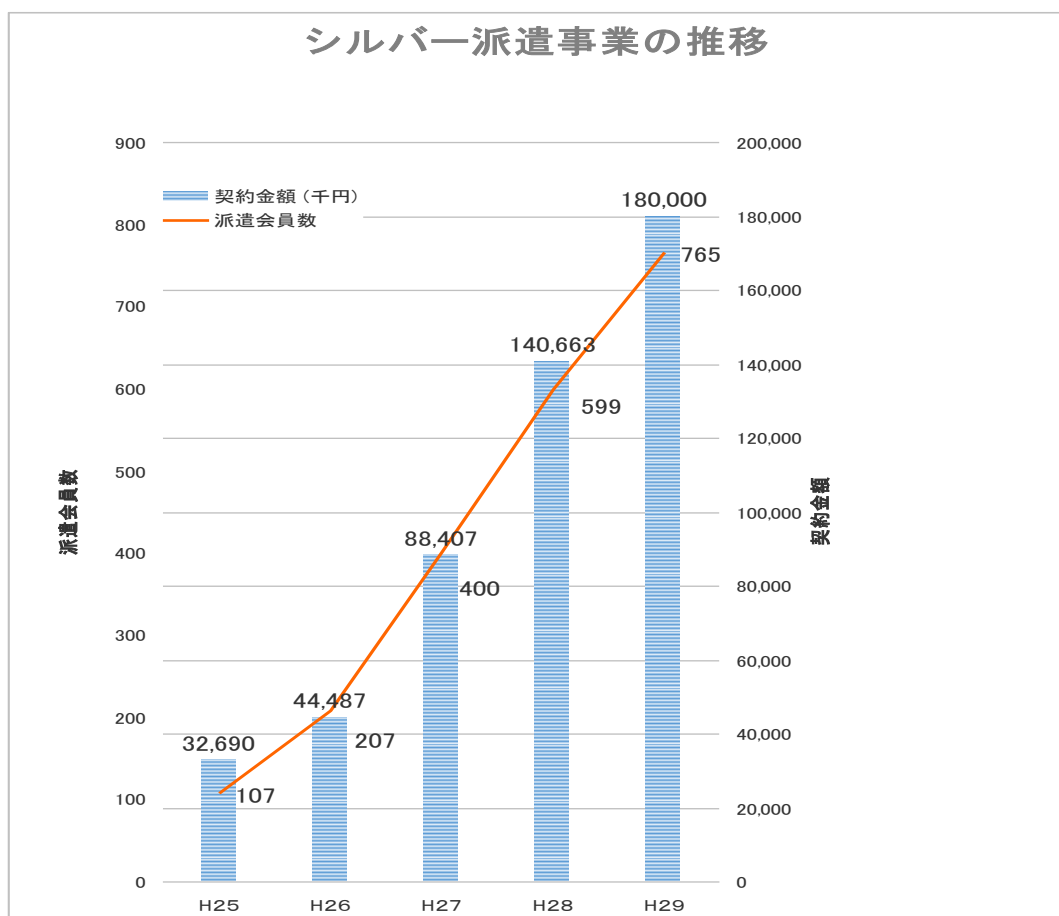
(5) 組織的取組

- ① 理事長、事務局長によるリーダーシップの発揮
- ② 職員の危機感への高揚
- ③ 会員拡大のための専門部会を設置
- ④ 目標管理の徹底
- ⑤ 関係機関との連携

2 シルバー派遣事業拡大推進事業の実施

企業の多様化したニーズへの対応、会員の就業機会の拡大、適正就業の徹底化の観点から、シルバー派遣事業は全国的に順調に伸びている。平成29年度は本県においても、1億8,000万円超の契約高見込みとなり、本年度の目標数値は昨年目標より5,000万円増の2億3,000万円を目指したい。

さらに派遣事業未届のシルバー人材センターにも、厚労省のガイドラインの趣旨徹底の観点から、届出を指導し環境を整備していく。



平成30年度シルバー派遣事業実施計画

センター名	H30 年度			H29 年度				契約額対 前年度比 率 H30/H29
	目標契約 額(千円)	割合	目標就業 延人日	実績見込 み額 (千円)	割合	受注 件数	就業延人 日 H30.1	
和歌山市	22,000	9.6%	4,100	9,477	5.3%	11	1,221	232.1%
田辺市	10,000	4.3%	2,200	6,402	3.6%	20	1,248	156.2%
橋本市	29,000	12.6%	5,500	21,892	12.2%	44	3,309	132.5%
新宮市	14,000	6.1%	2,800	11,716	6.5%	18	1,860	119.5%
岩出市	72,300	31.4%	15,100	66,824	37.1%	37	11,543	108.2%
紀ノ川市	24,000	10.4%	5,300	18,611	10.3%	46	3,535	129.0%
かつらぎ町	1,500	0.7%	300	261	0.1%	1	20	574.7%
白浜町	14,500	6.3%	3,300	12,299	6.8%	14	2642	117.9%
有田川町	13,000	5.7%	3,000	9,887	5.5%	28	2077	131.5%
海南市	14,500	6.3%	2,800	11,709	6.5%	19	1809	123.8%
みなべ町	1,000	0.4%	200	0	0.0%	0	0	—
串本町	5,700	2.5%	1,700	4,597	2.6%	12	1344	124.0%
紀美野町	8,500	3.7%	1,800	6,887	3.8%	9	1230	123.4%
合 計	230,000	100.0%	48,100	180,562	100.3%	259	31,838	127.4%

【具体的推進策】

- (1) シルバー派遣事業事務局担当者会議の開催(ブロック別)
- (2) シルバー派遣会員の教育訓練研修の開催(各センター別)
- (3) シルバー派遣事業未届のシルバー人材センターへの届出の啓発
- (4) 派遣元責任者講習への受講促進
- (5) シルバー派遣事業推進プロジェクトの立ち上げ

【平成30年度目標】

派遣契約額	センター届出数
230,000 千円	23

3 高齢者活躍人材育成事業の実施

シルバー派遣事業を希望する地域の高齢者である会員を対象に、技能を高めるため就業訓練、講習を実施していく。本年度は、5種類の講習を合計18回にわたり開催し、各センター並びに人材を必要としている企業等と連携のもと派遣事業拡大等に積極的に取り組んでいく。

- (1) 高齢者の就業に資する企業ニーズ等の収集、分析
- (2) 技能講習受講者の募集並びに選定
- (3) 技能講習の実施

講習名	開催回数
生活支援・介護補助講習	3回
保育補助スタッフ講習	3回
施設等調理補助スタッフ講習	5回
オフィス店舗等クリーンスタッフ講習	4回
果樹栽培等補助講習	3回
合計	18回

- (4) 目標技能講習開始者数 180人
- (5) 目標関連就職率 50%以上

4 高齢法第39条に基づく業務の拡大への対応

平成28年4月1日付けで、高齢法が改正され、悲願であった会員の就業時間が大幅に拡大されるようになった。シルバー派遣事業及び職業紹介事業に限定したものであるが、知事が特定の業種、特定のエリアを指定すれば会員は週20時間から最大40時間まで就業が可能となった。

本県のシルバー派遣事業においては、小売業関係特にスーパーで就業する会員が多く見られる。早々に、県下全域にわたり業務の拡大について会員並

【平成29年度実施済ブロック】

- ・ 紀北第1ブロック（かつらぎ町 高野町 九度山町のセンター会員）
 - ・ 紀北第3ブロック（岩出市 紀の川市 紀美野町のセンター会員）
 - ・ 紀中第4ブロック（有田市 有田川町 広川町のセンター会員）
 - ・ 紀南第6ブロック（田辺市 白浜町 みなべ町のセンター会員）
- 参加総人数 202名

【平成30年度実施予定ブロック】

- ・ 紀北第2ブロック（和歌山市 海南市のセンター会員）
- ・ 紀中第5ブロック（日高町 美浜町 御坊市 印南町のセンター会員）
- ・ 紀南第7ブロック（新宮市 串本町 那智勝浦町のセンター会員）

6 シルバー人材センター運営支援事業

(1) 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」への活動支援

各センターにおいて、特に育児支援業務や地域における人手不足分野等の取組を拡大することにより、女性を含め多くの現役世代が安心して働けるよう下支えをする事業に対して、全面的に活動の支援をしていく。

(2) 「地域就業機会創出・拡大事業」への活動支援

シルバー人材センターと地域の市町村や商工団体等の関係機関と連携して、地域企業の雇用問題の解決、「空き家対策事業」等地域の活性化等に繋がる新たな就業機会を創造する事業に取り組もうとするセンターに対して、全面的に指導、支援体制をしていく。

(3) 「シルバー人材センター事業指導事業」の実施

全シ協の委嘱を受け、「シルバー人材センター指導マニュアル」に基づき、社団法人としての適正・効果的な運営が確保されるよう指導相談事業を下記センターに実施する。また、任意団体であるセンターについても必要に応じて実施をしていく。

【 H30年度実施予定シルバー人材センター 6箇所 】

- | | | |
|--------|---------|--------|
| ・ 紀の川市 | ・ かつらぎ町 | ・ 有田川町 |
| ・ 印南町 | ・ 串本町 | ・ 広川町 |

(4) 社団法人への支援

一般・公益社団法人の適切な法人運営を期するため、関係機関との密接な情報収集等により、各拠点センターへの指導・支援に努める。

また、任意団体の早期法人化を奨励する。

7 適正就業ガイドラインに沿った事業運営指導

適正就業ガイドラインは、センター会員の働き方に係る重要な指針であり、法令順守の立場からガイドラインに沿った業務運営が求められる。請負事業

として問題がある事案については、偽装請負を根絶するため、早期にシルバー派遣事業等に切り替え、安易な先送りはしないことが重要であり適切な指導をしていく。

また、「臨・短・軽」を著しく離脱した就業については早期に是正すべくセンターへの指導を充実させたい。

8 新総合事業への支援

本事業については、改正介護保険法に基づき、平成29年4月までに段階的に地方自治体が主体となって実施することとなっており、全国では396のセンターが受託団体となっている。

本県においてはセンターが少しずつ動き出してはいるが、実績がまだわずかである。事業実績のないセンターについては、地域包括支援センターとの連携を図り、実績向上を目指し、参入を希望しているセンターについては地域の協議体に必ず参加し受託に向けた準備を進められるよう積極的に支援していく。

9 安全・適正就業推進事業

会員の安全は最重要課題であり、「安全はすべてに優先する」を基本にして取り組むとともに、シルバー事業としての就業形態についての理解を深め、安全・適正就業を徹底するため次の事項を重点に推進する。

- (1) 「安全・適正就業推進委員会」の開催
- (2) 「安全・適正就業推進委員会」委員による現場のパトロールの実施
- (3) 安全・適正就業担当者等を対象とする研修会の開催
- (4) 安全就業ニュースなどの情報収集と提供
- (5) 各拠点センター個別事項に対する指導・相談

10 職業紹介事業

臨時的かつ短期的な就業または軽易な業務に係る雇用事業を希望する高齢者を対象に、労働局指導のもとに、各拠点センターと連携を図りながら職業紹介事業に係る統括管理を行い、円滑に実施するために重点的に推進する。

11 普及啓発事業

県内全域でシルバー事業を発展・拡充するため、効果的かつ効率的な普及啓発活動を積極的に実施し、もって会員の確保、受注の拡大を目指す。

また、センター未設置の市町村に対する設置促進については、労働局及び県と連携しながら積極的に働きかけを行い組織化に向けた取り組みを行う。

- (1) 普及啓発用リーフレット、「シルバー人材センター連合会のご案内」、全シ協が作成する「月刊シルバー人材センター」の配布

- (2) 拠点センターが実施する普及啓発活動に対する積極的な支援
- (3) 「シルバーの日」における普及啓発活動の実施
- (4) 関係行政機関及び各種事業主団体との連携強化

12 連合会へ未加入のシルバー人材センターへの加入促進

シルバー人材センターが立ち上がっているにも拘わらず、連合会への未加入のセンターとして、由良町、すさみ町の2箇所がある。

本年度はセンターへの説明を繰り返し、入会を実現化させたい。

13 センター未設置町村に対する訪問及び会議への参画並びに資料提供

県内にはシルバー人材センターが未設置の地域がまだ6箇所存在する。

そうした中、本年4月に「古座川町シルバー人材センター」が設立される予定である。また、「湯浅町」も設立時期に入っており、本年度内に創立される見込みだ。他の地域についても巡回訪問を繰り返し、創立に向け邁進したい。

14 就業開拓情報提供事業

県内全域で高齢者自らの能力や希望に応じた仕事に就けるよう、幅広く情報収集に努めるとともに各関係行政機関及び各種事業主団体への訪問・要請及び広報活動を積極的に行い、就業機会の確保と就業分野の拡大を図る。

また、広域的な需給調整を円滑に実施するため「シルバー仕事ネット」の普及拡大に努める。

15 研修事業

高齢者の会員組織であるこのシルバー人材センターに、今、何が求められているのか今一度原点に戻り、基本を認識するとともに、今後の活動に活かすため役職員を対象に研修を行う。また、「全シ協」「近シ協」等主催の研修会にも積極的に参加を促し、自己研鑽に努めるものとする。

- (1) 役職員研修会の開催
- (2) 事務担当者別研修会の開催
- (3) 「全シ協」「近シ協」等主催の研修会への参加

16 国及び県等への要請陳情活動

シルバー事業の円滑な運営及び財政基盤の確立を図るため、国及び県その他関係機関に対して要請陳情活動を積極的に行う。

【要請・陳情先】

- | | |
|-----------|-----------|
| ・和歌山労働局長 | ・和歌山県知事 |
| ・和歌山県市長会長 | ・和歌山県町村会長 |

- ・和歌山県選出国會議員(必要に応じて)

17 各種会議の開催並びに関係機関の会議への出席

- (1) 理事長(会長)会議の開催
- (2) 事務局長会議の開催
- (3) 三役会議の開催
- (4) 監事会の開催
- (5) 理事会の開催
- (6) 定時総会の開催
- (7) 委員会の開催
 - ・シルバー人材センター等中長期計画推進委員会の開催
 - ・安全・適正就業推進委員会の開催
- (8) 「全シ協」「近シ協」の各種会議等への出席